

## 独・エッセン市で海外研修を行った 県立安積高校が帰国報告します



ターゲット 4.7



ターゲット 7. a



ターゲット 17. 17

令和 5 年 1 月 12 日

郡山市産業観光部

産業創出課

課長心得 横堀 孝尚

TEL: 924-2271

SDGs ターゲット 4. 7 「2030 年までに、持続可能な開発を促進するために必要な知識及び技能を習得できるようにする。」

SDGs ターゲット 7. a 「2030 年までに、クリーンエネルギーの研究及び技術へのアクセスを促進するための国際協力を強化する。」

SDGs ターゲット 17. 17 「効果的な公的、官民、市民社会のパートナーシップを奨励・推進する。」

2020 年からエッセン市のウルフスクーレ学校と交流を続けてきた県立安積高校が、昨年 12 月に初めて現地を訪問し、対面での交流が実現しました。郡山市長へ帰国報告を行います。

1 日 時 1 月 16 日(月) 午後 5 時～午後 5 時 30 分

2 場 所 市役所特別会議室 (本庁舎 2 階)

3 出 席 者 県立安積高校 海外研修ドイツ班 生徒 12 名、担当教諭 3 名

4 応 対 者 郡山市長  
産業観光部長心得兼部次長

5 研修概要 県立安積高校のスーパーサイエンスハイスクール事業 (第 2 期、2019 年度-2023 年度) に基づき、去る 12 月 11 日(日)-15 日(木)の 5 日間の日程で、エッセン市のウルフスクーレ学校を訪問した。2020 年 12 月にウルフスクーレ学校とのオンライン交流が始まって以来、今回初めて訪独、対面での交流を行った。(2020、2021 年度は新型コロナウイルス感染症の影響により海外研修見送り)

6 その他 県立安積高校担当 <sup>つしま</sup> 対馬 俊晴 教頭 TEL: 922-4310



交流パートナーとの初対面



ウルフスクーレ学校の生徒たち



エッセン・ガス・ヒート研究所視察



ウルフスクーレ学校での交流会



交流パートナーとのお別れ



現地プログラムを企画いただいた  
先生方や生徒たち

## <エッセン市との交流の経緯>

2019 年度～2023 年度 県立安積高校 文部科学省第 2 期スーパーサイエンスハイスクール (SSH) 事業指定

2019 年 9 月 エッセン市と郡山市が「教育」と「次世代の人材育成」における都市間協力の合意書を手交

2020 年 県立安積高校のエッセン市におけるパートナー学校がウルフスクーレ学校に決定し、SDGs をテーマとしたオンライン交流プログラムを実施

2021 年 両校の生徒 25 名が 5 グループに分かれ、SDGs の各ゴールを 1 つ選択し、グループワークとディスカッションにより、そのゴールの達成に貢献する共同プロジェクトを企画 (オンライン交流)

2022 年 駐日ドイツ大使館への訪問 (1 月) や駐日ドイツ大使の訪問受入 (2 月)、エッセン市長の訪問受入と交流会を開催 (9 月)



令和 2 年度の報告会の様子



駐日ドイツ大使館訪問と活動報告



エッセン市長の訪問と交流会

## <ウルフスクーレ学校>

- 1968 年創立。エッセン市が運営するギムナジウム (ドイツの中等教育機関、中高一貫校) で、5-12 学年 (日本の小学 5 年生から高校 3 年生まで) の生徒約 950 名が在籍。
- 自然科学等、科学・技術教育 (MINT 教育)、英語でのバイリンガル教育等に力を入れている。
- 同校グリーンクラブは生徒により創立・運営されている学生企業で、フェアトレード製品やサステナブルな衣服のオンラインストア等での販売、太陽光発電プロジェクト等、学校生活や地域の持続可能性を高めるプロジェクトに取り組んでいる。



昨年度のグリーンクラブの参加者



ドイツのオンライン交流の様子



令和 3 年 3 月にオンライン配信されたエッセン市主催「福島の春：東日本大震災 10 周年復興支援コンサート」に合わせ、グリーンクラブが作成したロゴマーク